

JANISフォン オプションサービス設定ガイド

IP電話「JANISフォン」

NEC Aterm BR500V 用

JANIS

2017年4月

IP電話「JANIS フォン」 接続設定マニュアル

>> JANIS フォンご利用までの流れ

次の手順で接続、設定を行ってください。

1. VoIP-TA の接続 (p.5～)

VoIP-TA 等周辺機器を接続します。お客様の回線接続形態によって、接続方法が異なりますのでご注意ください。



2. パソコンの設定 (p.13～)

パソコンの設定は本マニュアルを参考に手動で行ってください。
現在ご利用のネットワーク環境によっては設定が不要です。



3. VoIP-TA の電話設定 (p.30～)

電話設定はキャッチホン・ナンバーディスプレイをご契約のお客様のみ、必要となります。上記のオプションをご契約でないお客様は設定不要です。

VoIP-TA 等の接続設定に関して、
ご不明な点がございましたら、JANIS
ヘルプデスクまでお問い合わせ下さい。
(お問い合わせ先 ☎ 0120-20-4824)



はじめに

VoIP-TA (BR500V) をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

お客様宅内で接続されている通信設備 (ACR/LCR 他) 等の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

電波障害自主規制について

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

輸出する際の注意事項

本商品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。

また、当社は本商品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

本商品は、輸出貿易管理令別表第 9-07 項に定める輸出規制品に該当いたしますので日本国外に持ち出す際には日本国政府の輸出許可等必要な手続きをお取りください。

許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、Aterm インフォメーションセンターにご相談ください。

ご注意




- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り・記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

安全に使いいただくために お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

<文書中のマーク説明>

 警告	人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



電源

AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタ(電源プラグ)を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

本商品の AC アダプタ(電源プラグ)は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

AC アダプタ(電源プラグ)は必ず本商品に添付のものをお使いください。他の AC アダプタ(電源プラグ)を使用すると火災、感電、故障の原因となります。
また、AC アダプタに物をのせたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となる場合があります。

本商品添付の AC アダプタ(電源プラグ)は日本国内用 AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災や感電、故障の原因となります。

こんなときは

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の電源を切り、AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてください。

万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。

本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。

こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。

人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



注意

設置場所

本商品は温度 0 ～ 40 、湿度 10 ～ 90 % の結露しない環境でご使用ください。

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。

温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

電源

本商品の AC アダプタ(電源プラグ)はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ(電源プラグ)をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本商品の AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

感電防止のため、アース線の接続は必ず本商品の AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントにつなぐ前に行ってください。

また、アース線を外す場合は必ず AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてから行ってください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ(電源プラグ)をコンセントから抜いてください。

本商品の AC アダプタ(電源プラグ)とコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。

火災の原因となることがあります。

禁止事項

本商品に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

STOP お願い

設置場所

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。

- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

禁止事項

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。

本商品が正常に動作しないことがあります。

本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。

故障の原因となることがあります。

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。

動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。

すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

その他のご注意

通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。

重要なデータは元データと照合してください。

本書をご利用になる前に（必ずお読み下さい）

参照先ページをご確認下さい

お客様のご契約内容やご利用方法により、参照していただくページが異なります。

第1章	お使いになる前に	1
	同梱品の確認	2
	装置各部の説明	3
第2章	VoIP TA 接続方法	5
	ケーブルインターネット + 「JANIS フォン」の場合	6
	一般電話回線(NTT)ADSL 接続 < パソコン 1 台の場合 >	8
	有線放送回線 ADSL 接続 < パソコン 1 台の場合 >	10
	一般電話回線(NTT)ADSL 接続 < パソコン複数台の場合 >	11
	光ファイバー接続の場合	12
第3章	パソコンの設定	13
	Windows 10 の場合の設定	14
	Windows 7 および Windows 8 の場合の設定	18
	Mac OS X の場合の設定	22
第4章	VoIP TA の電話設定	26
	電話設定	27
第5章	VoIP TA の初期設定	30
	初期・接続設定	31
	SIP サーバ設定	37
	設定情報の確認	39
第6章	故障かな？と思ったとき	41
第7章	ルータ機能設定方法	45
	JANIS お問い合わせ先	46

JANIS フォンの使い方は、別冊の「IP 電話使い方ガイド」をご覧ください。

市販ルータ等接続機器に関しては、付属の取扱説明書をご覧ください。

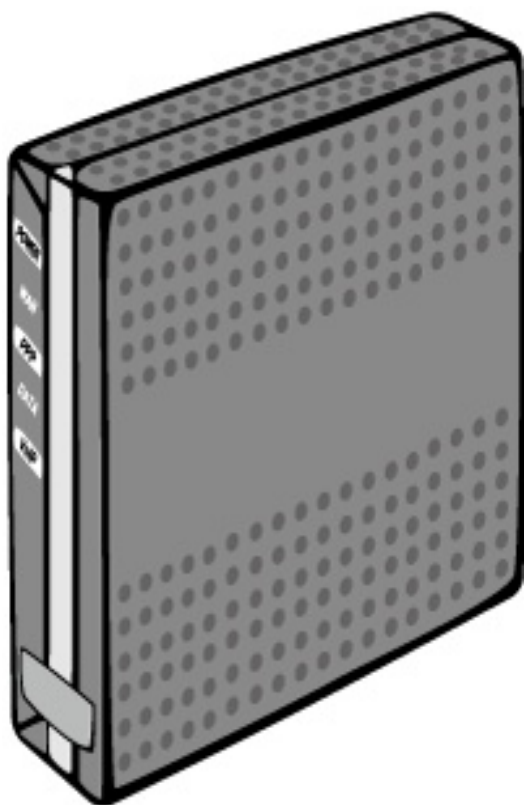
第1章 お使いになる前に

ここでは、同梱品の確認、及び装置各部の説明をいたします。

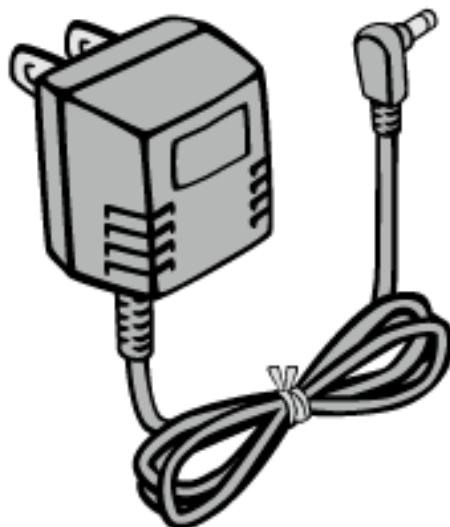
同梱品の確認

同梱品を確認してください。

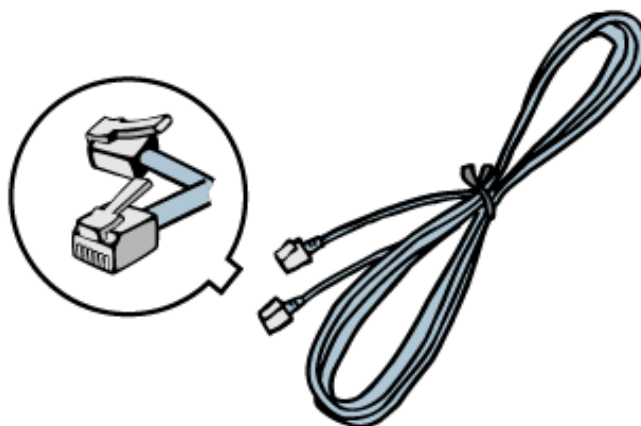
本体 & 縦置き台(2個)



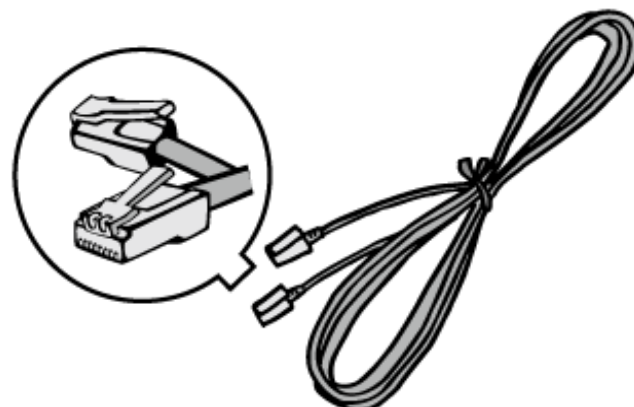
ACアダプタ



電話用ケーブル

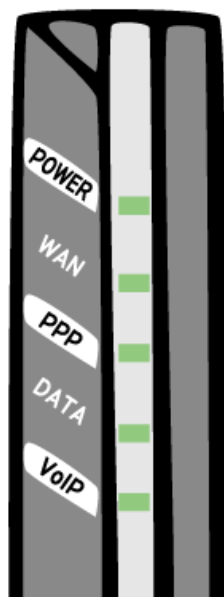


LANケーブル(ストレート)



装置各部の説明

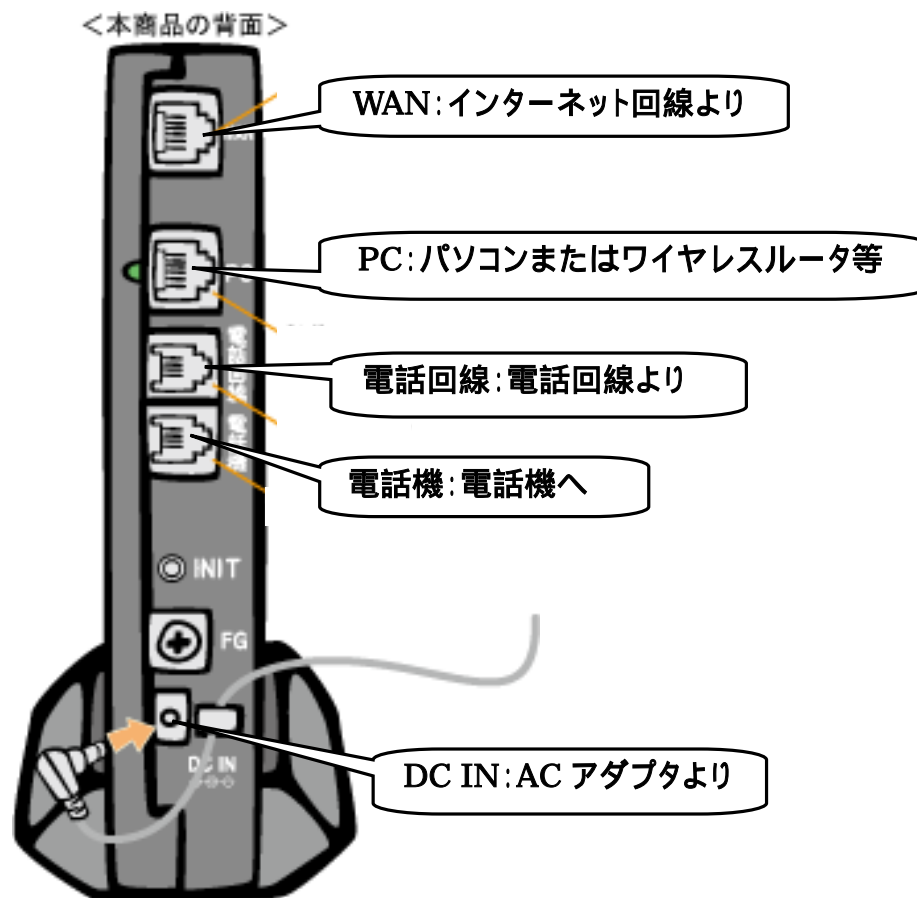
1. 本装置前面



〔装置前面図の説明〕

名称	表示(色)		説明
POWER	緑	点灯	電源が投入されています。
	-	消灯	電源が切れています。
WAN	緑	点灯	ブロードバンドモデムとリンクが確立しています。
		点滅	ブロードバンドモデムとデータ送受信中です。
	-	消灯	ブロードバンドモデムとリンクが確立していません。
PPP	緑	点灯	PPP のリンクが確立しています。
		遅い	PPP の認証が失敗しました。(約 1 秒間隔)
		速い	相手先から応答がありません。
	-	消灯	PPP のリンクが確立していません。
DATA	緑	点灯	PC ポートでデータの送受信をしています。
	-	消灯	PC ポートでデータの送受信をしていません。
VoIP	緑	点灯	IP 電話を使用できます。
		点滅	IP 電話を使用中です。(約 0.5 秒間隔)
	赤	点灯	IP 電話を使用できません。
	橙	点灯	「情報」-「電話の状態と状態の変更」で[IP 電話利用停止]が設定されています。
		点滅	加入電話(NTT 等)で電話を使用中です。(約 0.5 秒間隔)
	緑 橙	点滅	IP 電話で加入電話の相手と通話中です。
	-	消灯	IP 電話が設定されていません。

2. 本装置背面



〔装置背面図の説明〕

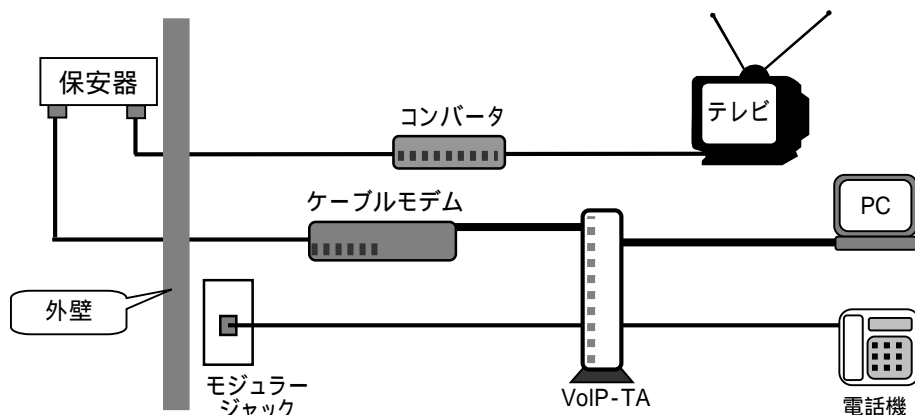
名称	表示(色)	説明
WANポート	WAN	LAN ケーブルを使用してADSLモデムまたはブロードバンドモデムに接続するためのポートです。
PCポート	PC	LAN ケーブル(添付品)を使用してパソコンと接続するためのポートです。(100BASE-TX/10BASE-T)
電話回線ポート	電話回線	電話回線ケーブル(添付品)を使用してスプリッタのPHONEポートまたは電話回線用モジュージャックに接続するためのポートです。
電話機ポート	電話機	電話回線ケーブルを使用して電話機を接続するためのポートです。
イニシャルスイッチ	INIT	ATERMを初期設定(工場出荷時設定)に戻すときに利用するスイッチです。
FG端子	FG	アース線を接続するための端子です。
電源ジャック	DC IN	電源コードを接続します。

第2章 VoIP TA 接続方法

ここでは、「一般的な接続」、「パソコンで固定グローバルIPアドレスをご利用になる場合」、「ご自身で用意されたルータをご利用になる場合」に分け、それぞれ接続例をご紹介します。接続する機器と、その機能の使い方によってセキュリティ - レベルが異なりますので、お客様のご利用形態に合った接続方法を選択してください。

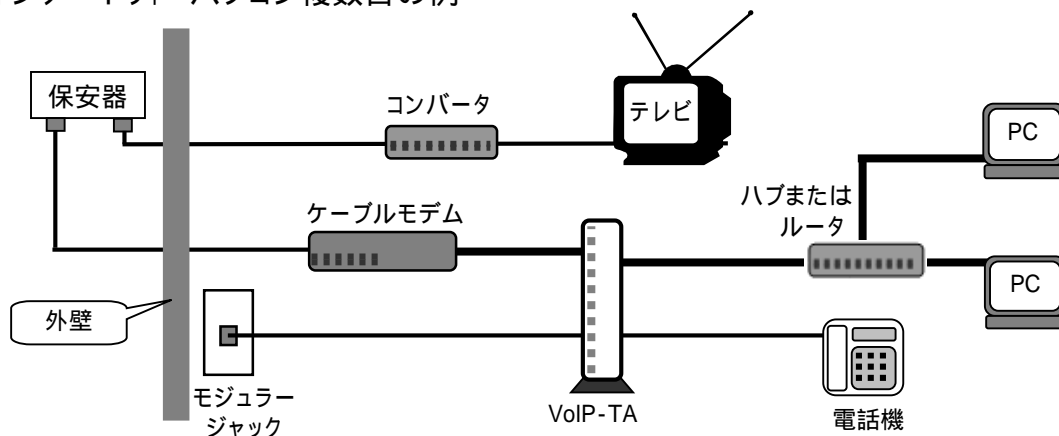
ケーブルインターネット + 「JANIS フォン」の場合

ケーブルインターネット パソコン1台の例



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュラージャック ~ VoIP-TA〔電話回線〕	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA〔電話機〕 ~ 電話機	電話線
	VoIP-TA〔PC〕 ~ PC〔LAN アダプタ (LAN カード)〕	LAN ケーブル (VoIP-TA 付属のケーブル)
	モデム ~ VoIP-TA〔WAN〕	LAN ケーブル (モデムと繋がっているケーブル)

ケーブルインターネット パソコン複数台の例



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュラージャック ~ VoIP-TA〔電話回線〕	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA〔電話機〕 ~ 電話機	電話線
	モデム ~ VoIP-TA〔WAN〕	LAN ケーブル
	VoIP-TA〔PC〕 ~ PC〔LAN アダプタ (LAN カード)〕	LAN ケーブル
	VoIP-TA〔PC〕 ~ PC〔LAN アダプタ (LAN カード)〕	LAN ケーブル

回線の種類がISDNの場合、モジュラージャックと VoIP-TA の間に TA が必要です。

有線放送回線のモジュージャックについて

有線放送回線ご利用のお客様で、宅内にモジュージャックの対応がなされていない場合は、各有線放送へお問い合わせ下さい。

ADSL モデム差込口の表示について

ご加入いただいているコースにより、お使いいただく ADSL モデムの種類が異なります。従って、差込口の表示もモデムにより異なります。以降の接続方法のページ上、ADSL モデム〔 1 〕〔 2 〕と記載されている部分は、下記の表を参考に読み換えて下さい。

LAN ケーブルについて

別途、LAN ケーブルをご購入いただく場合は下記の表を参考に、ADSL モデムに合ったケーブル種類をお選びください。

各モデム差込口表示 / LAN ケーブルの種類

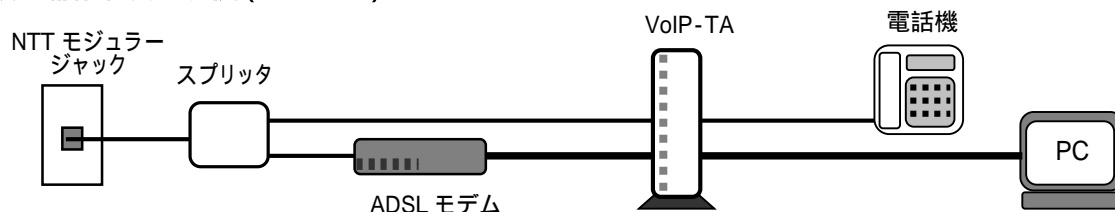
ADSL モデム名	モデム差込口表示		LAN ケーブルの種類	
	1	2	ADSL モデム ~ VoIP-TA	VoIP-TA ~ パソコン
PARADYNE (黒)	LINE	ETHERNET	クロス	ストレート
PARADYNE (リーチ)	LINE	ETHERNET	クロス	ストレート
PARADYNE	DSL	ETHERNET	クロス	ストレート
Corecess	LINE	LAN	ストレート	ストレート
Comtrend	LINE	LAN	クロス	ストレート
ZHONE	LINE	LAN	ストレート	ストレート
EX-1101QL	VDSL	LAN	ストレート	ストレート
AR-5061	ADSL	LAN	クロス	ストレート

一般電話回線(NTT)ADSL 接続 <パソコン 1 台の場合>

VoIP-TA のルータ機能を使いパソコンに接続します。

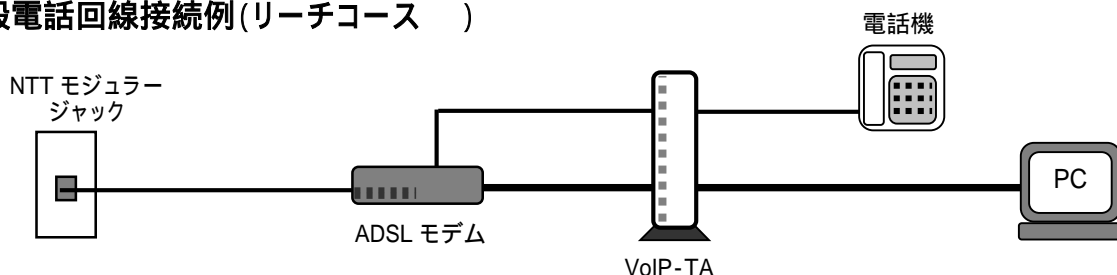
VoIP TA のルータ機能には制約があるため、パソコン側のセキュリティ - レベルは中。

一般電話回線接続例(タイプ)



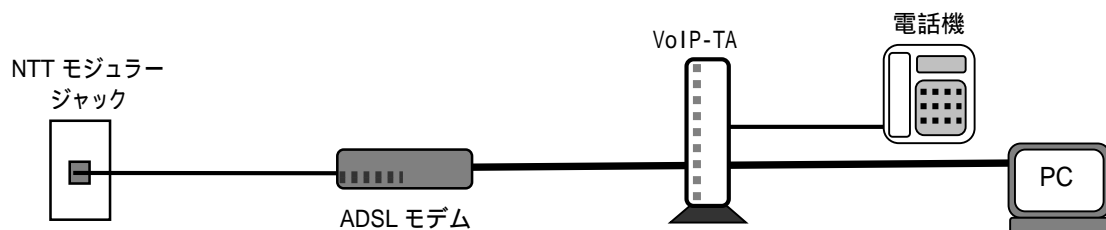
接続 No	接続方法 ()内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュラージャック ~ スプリッタ(LINE または WALL)	電話線
	スプリッタ(PHONE) ~ VoIP-TA(電話回線)	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA(電話機) ~ 電話機	電話線
	スプリッタ(MODEM) ~ ADSL モデム(1(P.7 参照))	電話線
	ADSL モデム(2(P.7 参照)) ~ VoIP-TA(WAN)	LAN ケーブル(ADSL モデム付属のケーブル)
	VoIP-TA(PC) ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル(VoIP-TA 付属のケーブル)

一般電話回線接続例(リーチコース)



接続 No	接続方法 ()内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュラージャック ~ ADSL モデム (1(P.7 参照))	電話線
	ADSL モデム(PHONE) ~ VoIP-TA(電話回線)	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA(電話機) ~ 電話機	電話線
	ADSL モデム(2(P.7 参照)) ~ VoIP-TA(WAN)	LAN ケーブル(ADSL モデム付属のケーブル)
	VoIP-TA(PC) ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル(VoIP-TA 付属のケーブル)

一般電話回線接続例(タイプ)



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュラージャック ~ ADSL モデム [1(P.7 参照)]	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	ADSL モデム [2(P.7 参照)] ~ VoIP-TA (WAN)	LAN ケーブル (ADSL モデム付属のケーブル)
	VoIP-TA (電話機) ~ 電話機	電話線
	VoIP-TA (PC) ~ PC [LAN アダプタ (LAN カード)]	LAN ケーブル (VoIP-TA 付属のケーブル)

一般電話回線(タイプ)は通常のアナログ電話番号を持たない回線ですので、スプリッタは使用しません。

タイプ では JANIS フォン (IP 電話網経由) 以外の PHS、特番 (110 など) への通話はできません。

ガスの自動検針器等が取り付けられている場合、ご注意ください。

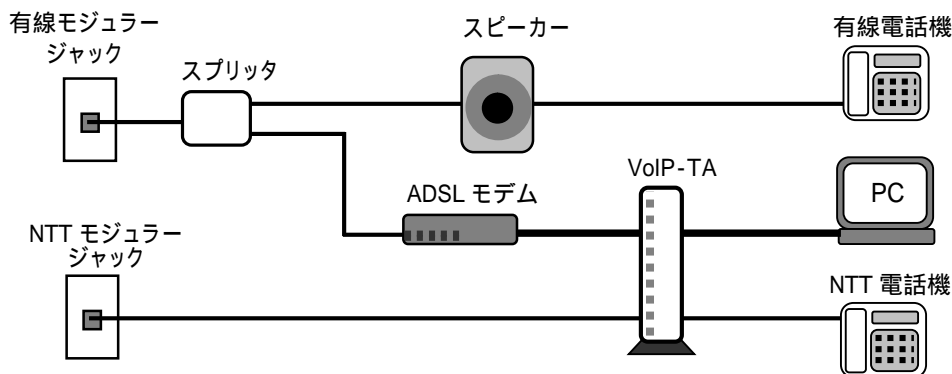
ガスの自動検針器等は VoIP-TA と電話機の間設置してください。

ご不明な場合は JANIS までご連絡ください。

(宅内工事等が必要な場合には、別途、有償にてお受けいたします。)

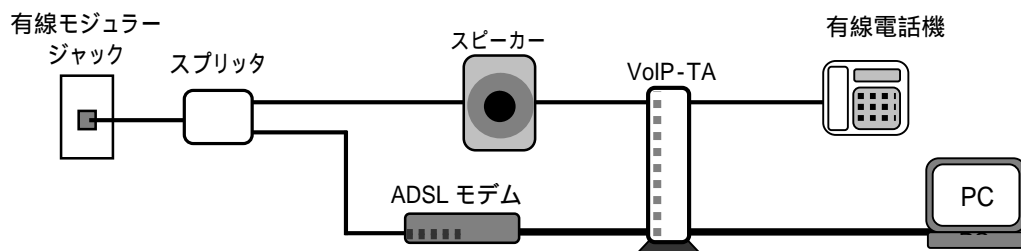
有線放送回線 ADSL 接続 < パソコン 1 台の場合 >

有線放送回線接続例 (有線電話と NTT 電話を別々に接続)



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	有線モジュラージャック ~ スプリッタ (LINE または WALL)	電話線
	スプリッタ (PHONE) ~ スピーカー	電話線
	スピーカー ~ 有線電話機	電話線
	スプリッタ (MODEM) ~ ADSL モデム [1 (P.7 参照)]	電話線
	ADSL モデム [2 (P.7 参照)] ~ VoIP-TA (WAN)	LAN ケーブル (ADSL モデム付属のケーブル)
	VoIP-TA (PC) ~ PC (LAN アダプタ (LAN カード))	LAN ケーブル (VoIP-TA 付属のケーブル)
	NTT モジュラージャック ~ VoIP-TA (電話回線)	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA (電話機) ~ NTT 電話機	電話線

有線放送回線接続例 (有線電話を VoIP-TA へ接続)



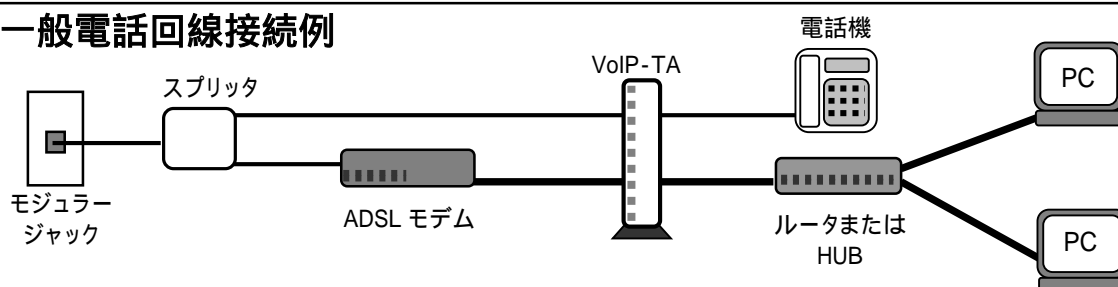
接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュラージャック ~ スプリッタ (LINE または WALL)	電話線
	スプリッタ (PHONE) ~ スピーカー	電話線
	スピーカー ~ VoIP-TA (電話回線)	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA (電話機) ~ 有線電話機	電話線
	スプリッタ (MODEM) ~ ADSL モデム [1 (P.7 参照)]	電話線
	ADSL モデム [2 (P.7 参照)] ~ VoIP-TA (WAN)	LAN ケーブル (ADSL モデム付属のケーブル)
	VoIP-TA (PC) ~ PC (LAN アダプタ (LAN カード))	LAN ケーブル (VoIP-TA 付属のケーブル)

一般電話回線(NTT)ADSL 接続 < パソコン複数台の場合 >

VoIP-TA のルータ機能を使い HUB 経由で複数台のパソコンに接続します。

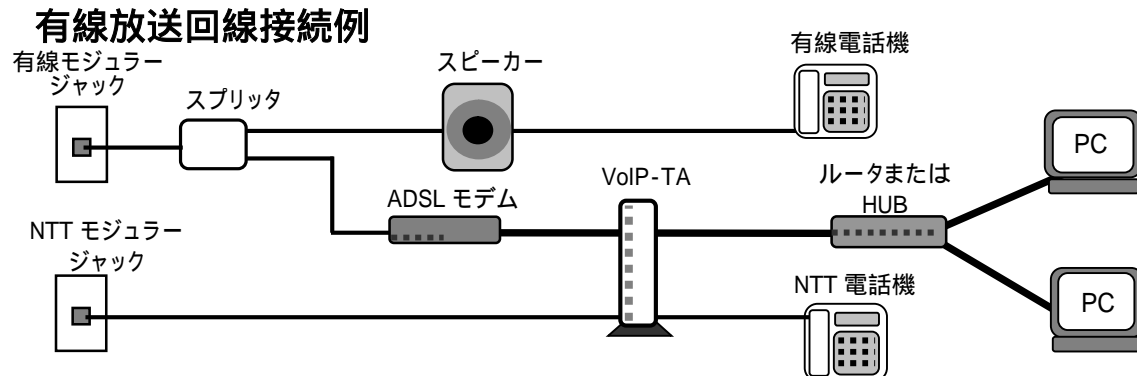
VoIP TA のルータ機能には制約があるため、パソコン側のセキュリティ - レベルは中。

一般電話回線接続例



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュージャック ~ スプリッタ(LINE または WALL)	電話線
	スプリッタ(PHONE) ~ VoIP-TA(電話回線)	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA(電話機) ~ 電話機	電話線
	スプリッタ(MODEM) ~ ADSL モデム[1(P.7 参照)]	電話線
	ADSL モデム[2(P.7 参照)] ~ VoIP-TA(WAN)	LAN ケーブル(ADSL モデム 付属のケーブル)
	VoIP-TA(PC) ~ ルータまたは HUB	LAN ケーブル(VoIP-TA 付属のケーブル)
	ルータまたは HUB ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル(別途購入)

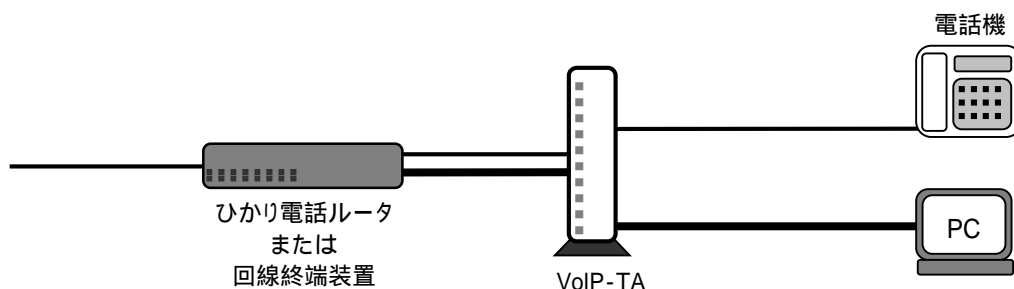
有線放送回線接続例



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	モジュージャック ~ スプリッタ(LINE または WALL)	電話線
	スプリッタ(PHONE) ~ スピーカー	電話線
	スピーカー ~ 有線電話機	電話線
	スプリッタ(MODEM) ~ ADSL モデム[1(P.7 参照)]	電話線
	ADSL モデム[2(P.7 参照)] ~ VoIP-TA(WAN)	LAN ケーブル(ADSL モデム 付属のケーブル)
	VoIP-TA(PC) ~ ルータまたは HUB	LAN ケーブル(VoIP-TA 付属のケーブル)
	ルータまたは HUB ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル(別途購入)
	NTT モジュージャック ~ VoIP-TA(電話回線)	電話線 (VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA(電話機) ~ NTT 電話機	電話線

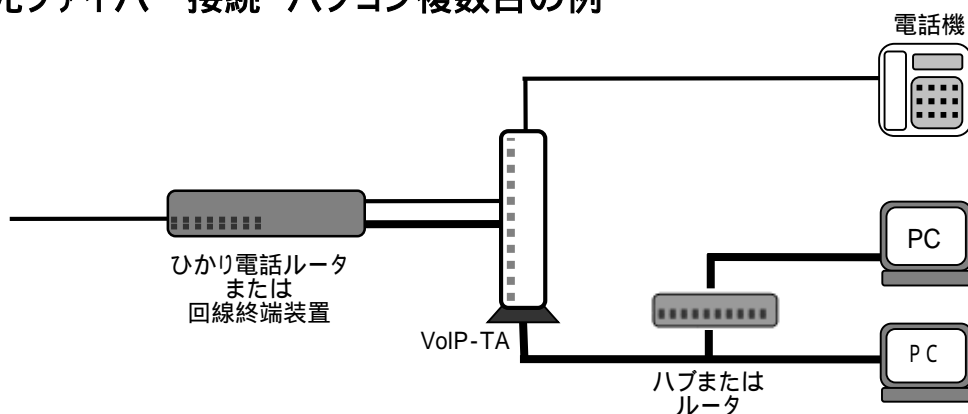
光ファイバー接続の場合

光ファイバー接続 パソコン1台の例



接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	ひかり電話ルータ(TEL) ~ VoIP-TA(電話回線)	電話線(VoIP-TA 付属の電話線)
	VoIP-TA(電話機) ~ 電話機	電話線
	VoIP-TA(PC) ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル(VoIP-TA 付属のケーブル)
	ひかり電話ルータ ~ VoIP-TA(WAN)	LAN ケーブル

光ファイバー接続 パソコン複数台の例



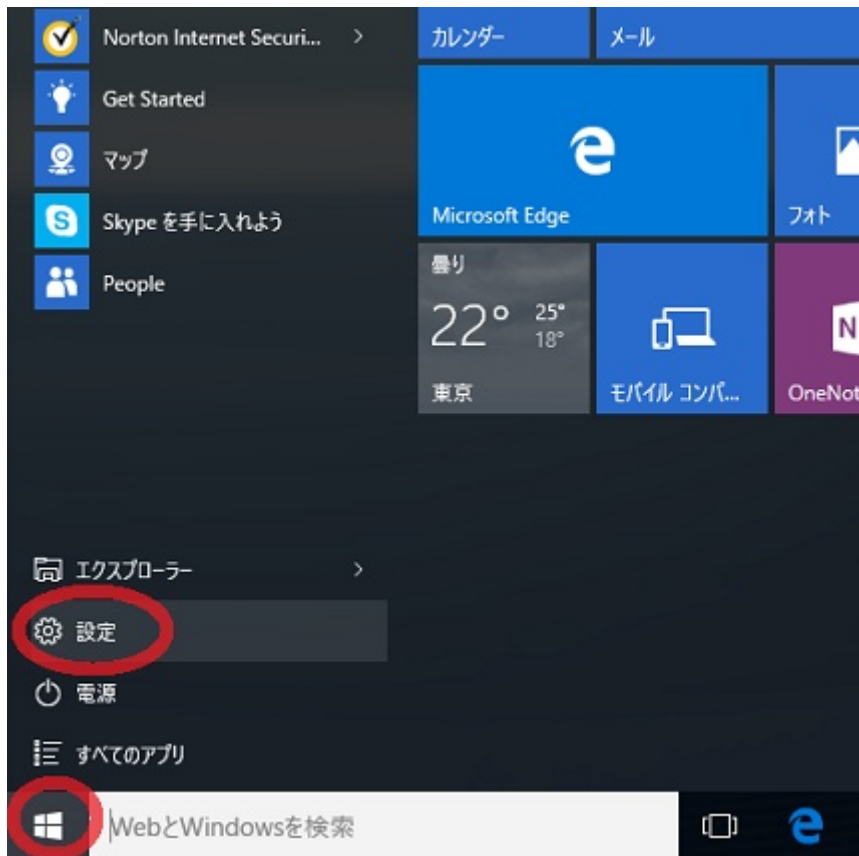
接続 No	接続方法 []内は差込口表示	接続に用いるケーブル
	ひかり電話ルータ(TEL) ~ VoIP-TA(電話回線)	電話線(VoIP-TA 付属の電話線)
	ひかり電話ルータ(LAN) ~ VoIP-TA(WAN)	LAN ケーブル
	VoIP-TA(電話機) ~ 電話機	電話線
	VoIP-TA(PC) ~ ハブ	LAN ケーブル(VoIP-TA 付属のケーブル)
	ハブ ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル
	ハブ ~ PC(LAN アダプタ(LAN カード))	LAN ケーブル

第3章 パソコンの設定

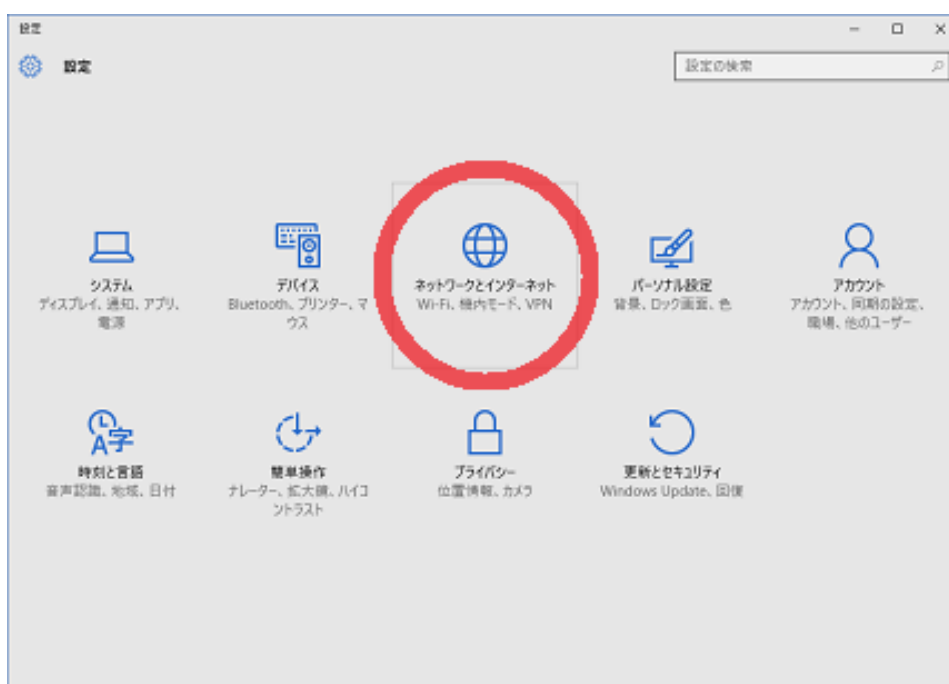
ここでは、パソコン側に VoIP TA を使うための設定を行います。
各 OS により参照していただくページが異なりますので、ご注意ください。

Windows 10 の場合の設定

1. パソコンを起動してデスクトップを開き、タスクバーの「Windows マーク」から「設定」をクリックします。



2. 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3. 「イーサネット」から「ネットワークと共有センター」をクリックします。



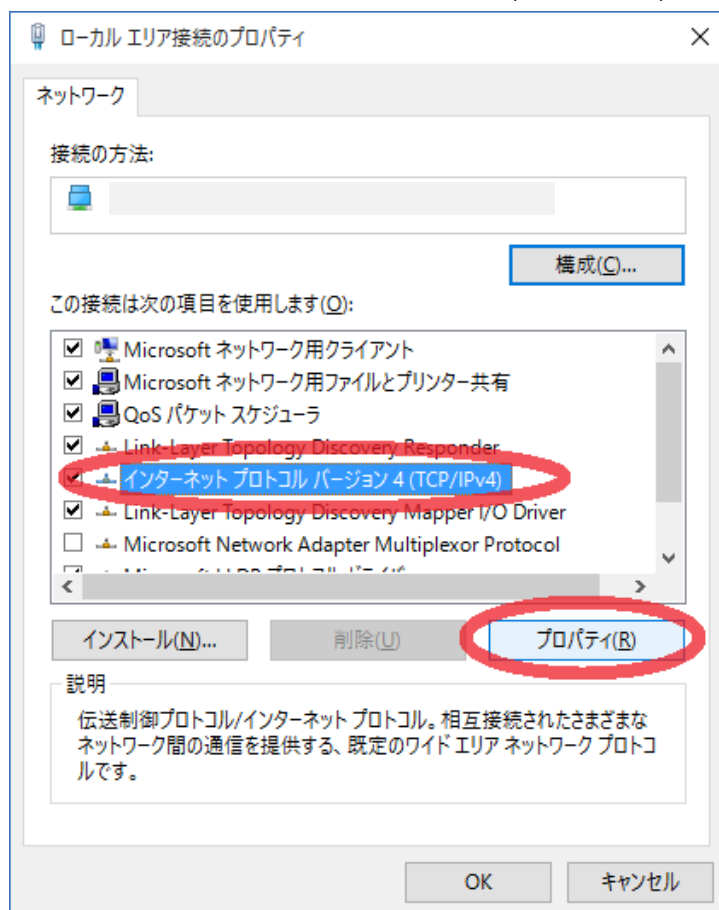
4. 「アクティブなネットワークの表示」の「ローカルエリア接続」または「イーサネット」をクリックします。



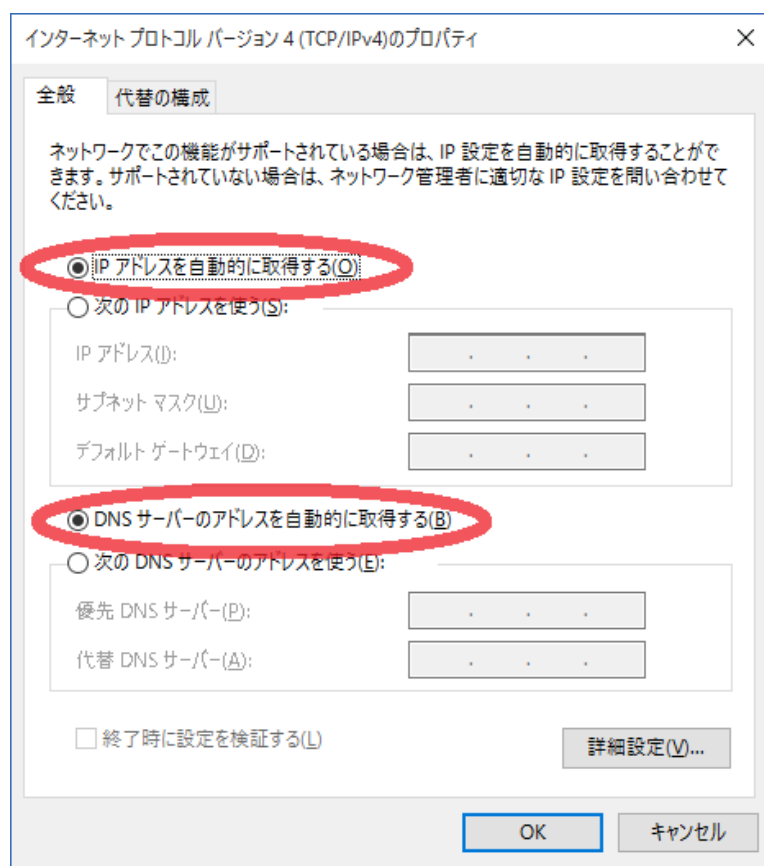
5. 「プロパティ」ボタンをクリックします。



6. 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



7. 「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「OK」をクリックします。



8. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻りますので、「OK」をクリックします。

9. 設定画面を全て閉じ、パソコンを再起動して設定は完了です。

Windows 7および Windows 8 の場合の設定

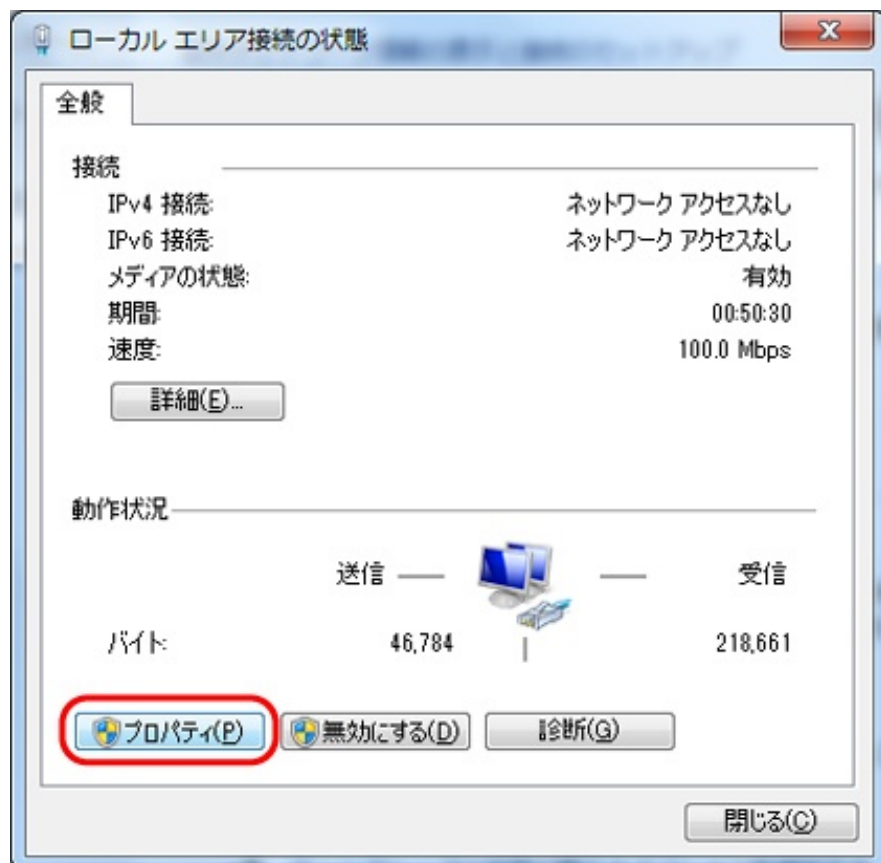
1. パソコンを起動し、「コントロールパネル」を選択します。
(ア) Windows 7の場合 : タスクバーの「Windows マーク」ボタンをクリックして、
表示されるメニューから選びます。
(イ) Windows 8の場合 : デスクトップを開き、タスクバーの「Windows マーク」ボタン
を右クリックして、表示されるメニューから選びます。
2. 「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
[大きいアイコン][小さいアイコン]表示の場合は「ネットワークと共有センター」をクリックします。
(カテゴリ表示)



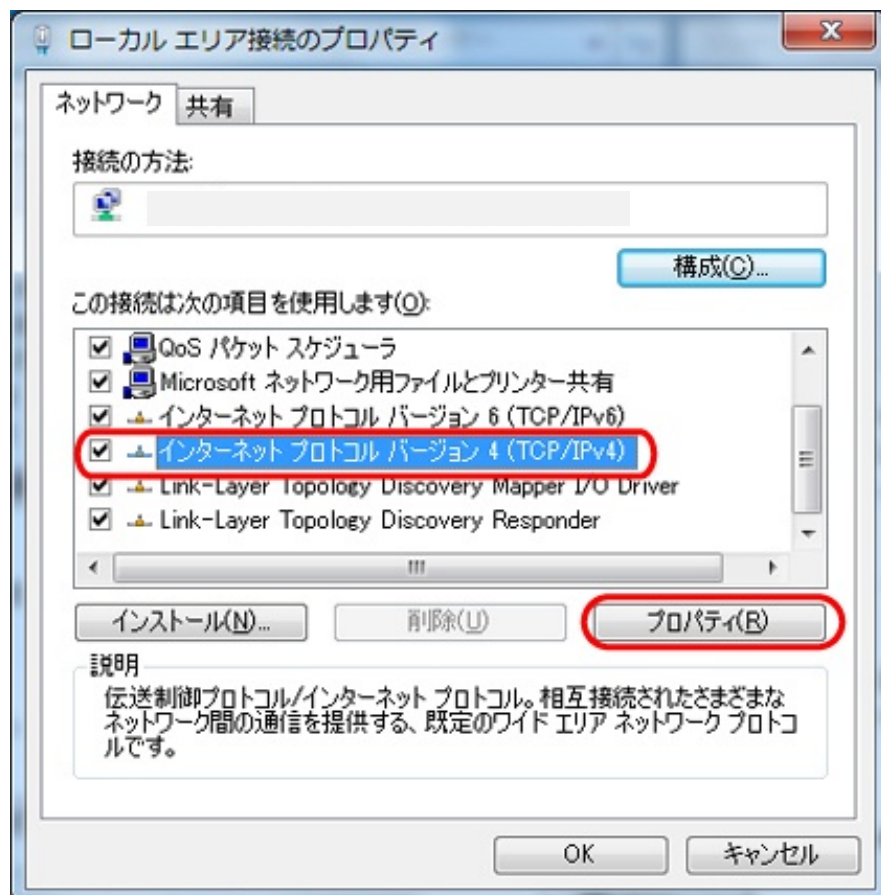
3. 「アクティブなネットワークの表示」の「ローカルエリア接続」をクリックします。



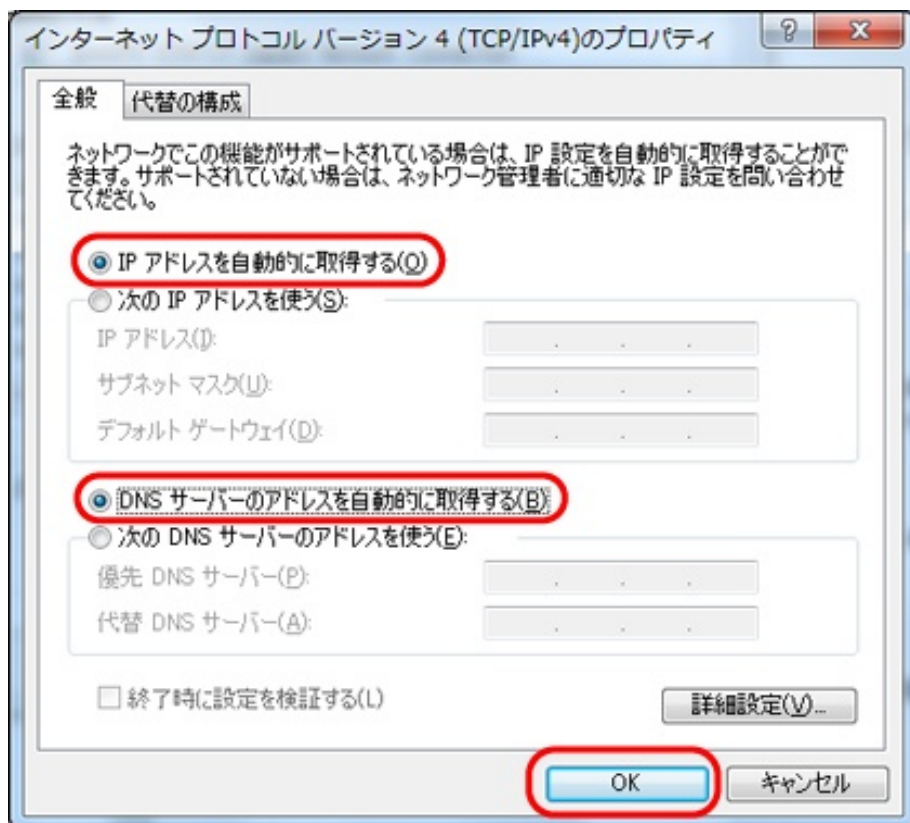
4. 「プロパティ」ボタンをクリックします。



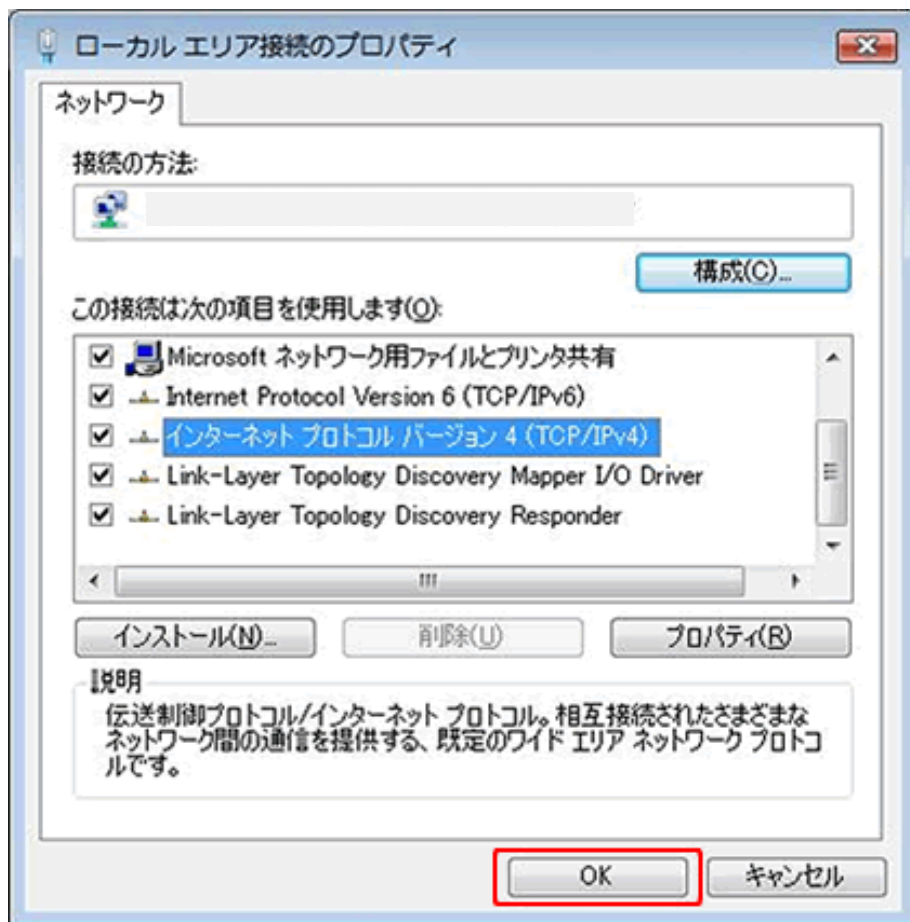
5. 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



6. 「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「OK」をクリックします。



7. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



8. 「ローカルエリア接続の状態」の画面右上の「閉じる」ボタンをクリックします。
9. 「ネットワークと共有センター」の画面右上の「閉じる」ボタンをクリックします。
10. Windows を再起動します。
 - (ア) Windows 7の場合 : 「スタート」 「終了オプション」を選択します。
「コンピュータの電源を切る」画面で「再起動」をクリックします。
 - (イ) Windows 8の場合 : デスクトップを開き、「スタートボタンを右クリック」 「シャットダウンまたはサインアウト」を選択します。
「再起動」をクリックします。

以上で、パソコンの設定は完了です。

Mac OS X の場合の設定

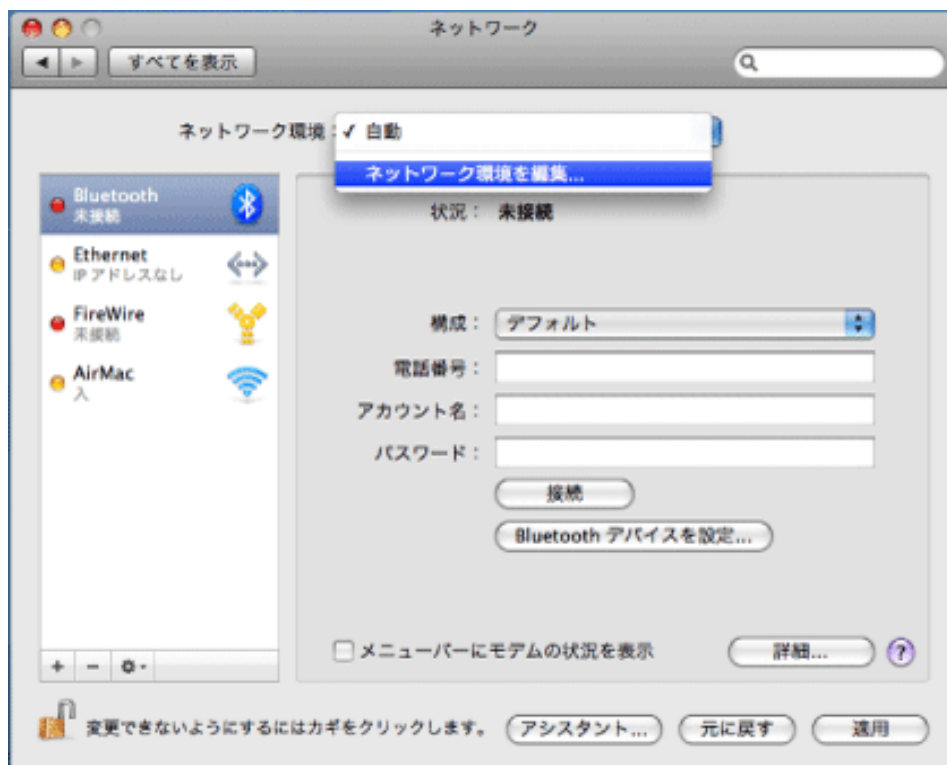
1. パソコンを起動し、「アップルメニュー」アイコンをクリックし、「システム環境設定」を選択します。



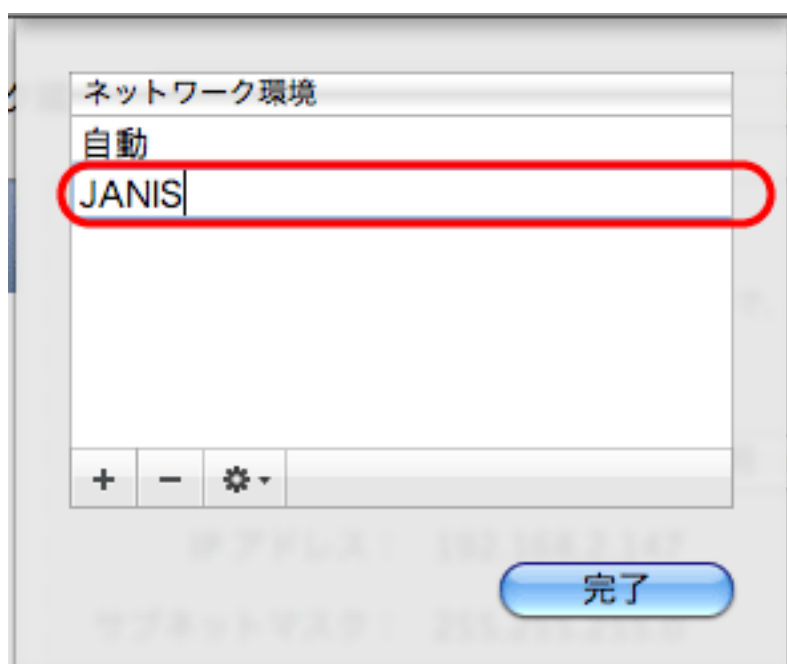
2. 下記の画面が表示されますので、「ネットワーク」をクリックします。



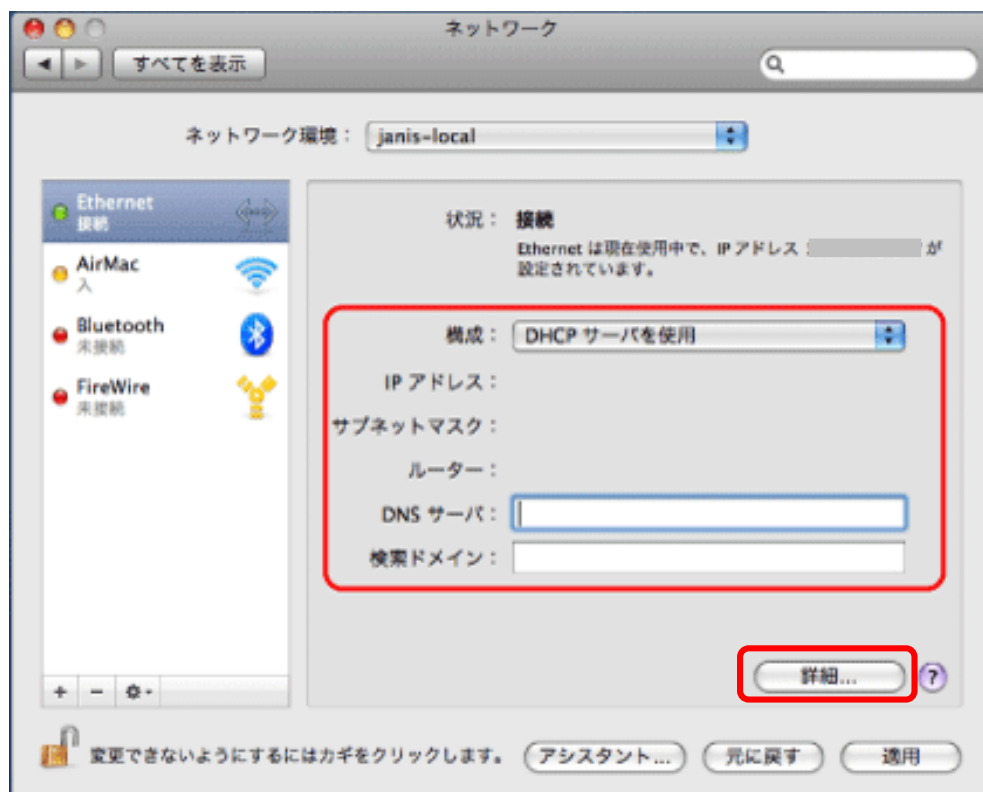
3. 下記の画面が表示されますので、ネットワークの「ネットワーク環境:」から「ネットワーク環境を編集...」を選択します



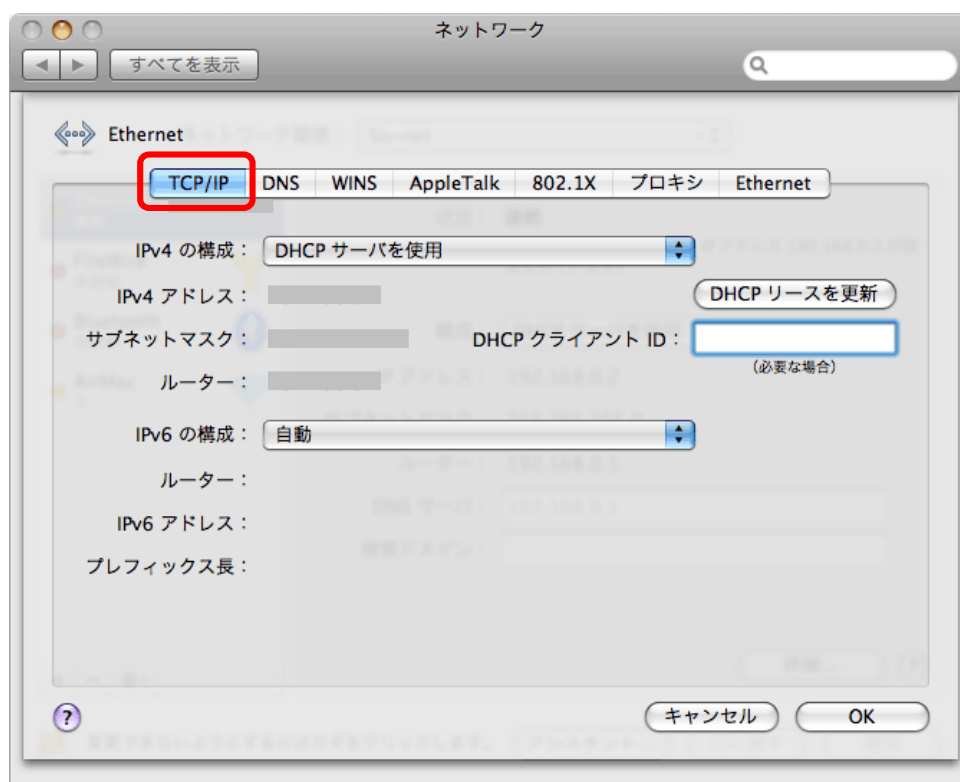
4. ネットワーク環境が表示されますので、「+」を押し追加します。
例: JANIS
入力が終わりましたら、「完了」をクリックします。



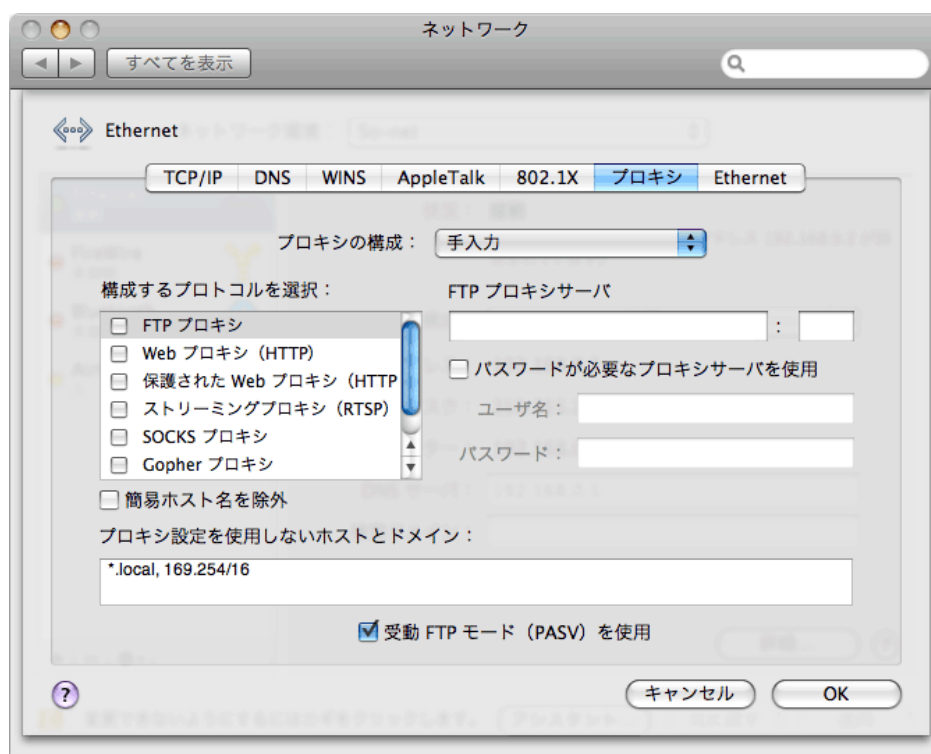
5. 「構成:」が DHCP サーバを使用になっていることを確認します。続いて、「詳細」をクリックします。



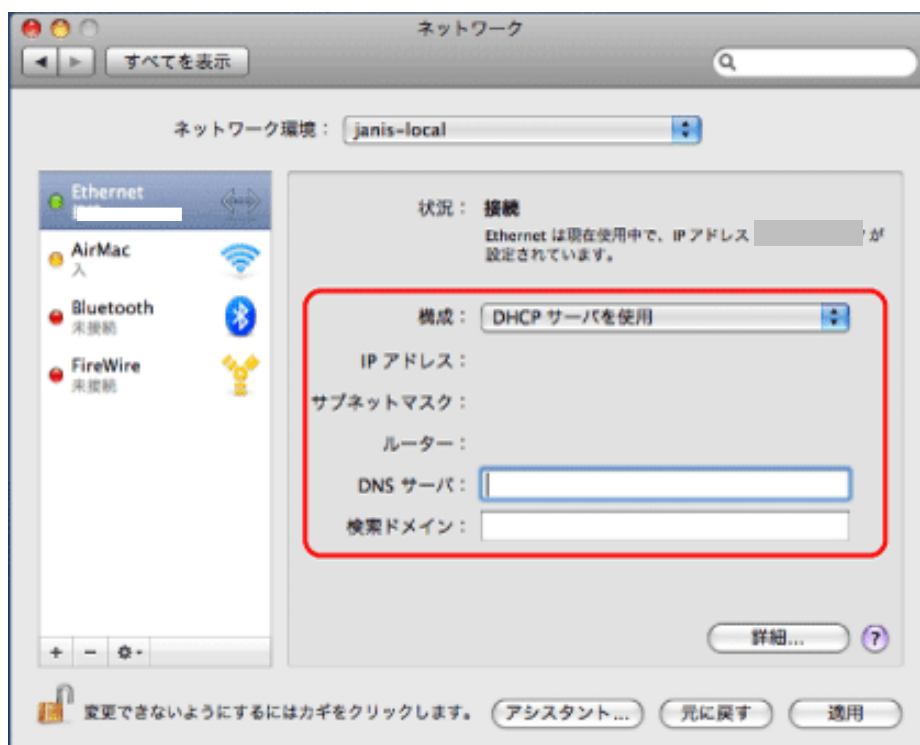
6. 「TCP/IP」タブをクリックし、IPv4 の構成: が DHCP サーバを使用になっていることを確認します。



7. 「プロキシ」タブをクリックし、全ての項目のチェックをはずし、「OK」をクリックします。



8. 下記の画面が表示されますので、「適用」をクリックします。



以上でパソコンの設定は完了です。

第4章 VoIP TA の電話設定

キャッチホン・ナンバーディスプレイなどのご契約をされている方のみ
設定が必要となります。

電話設定

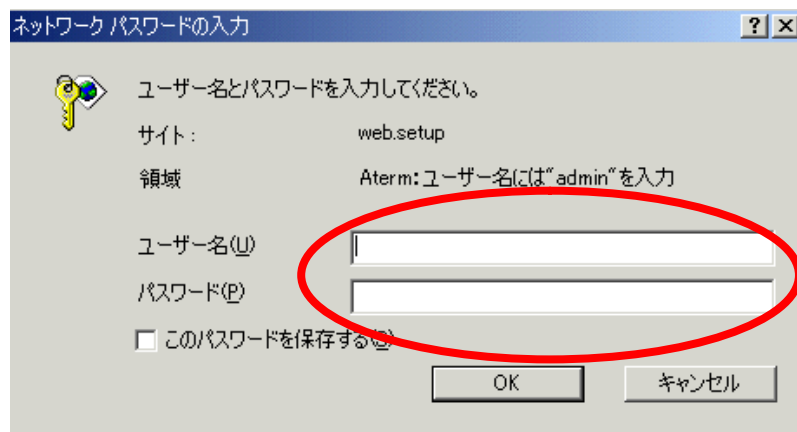
1. Internet Explorer などのブラウザから <http://web.setup/> へアクセスします。



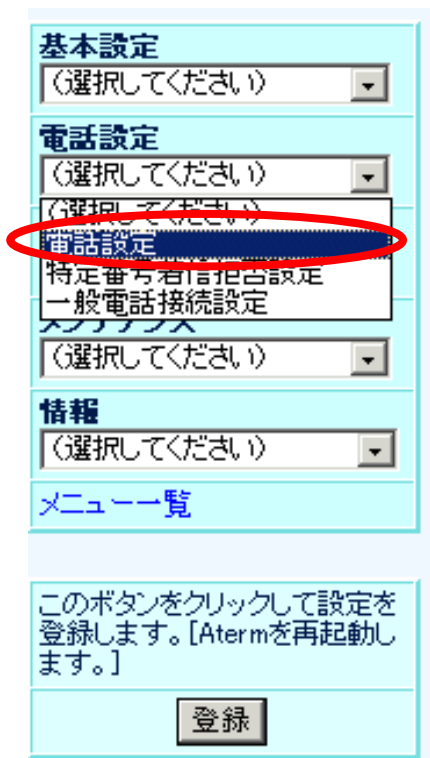
2. ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin**、パスワードは「**JANIS + TA 管理番号 (TA 側面の J-*****の数字 5 桁)**」を半角で入力します。

例: JANIS12345 (TA 管理番号が J-12345 の場合)



3. 「電話設定」メニューより、「電話設定」を選択します。



4. 下記の通り設定を行い、設定をクリックします。

【電話設定】

【基本設定】

ナンバーディスプレイ利用	<input type="checkbox"/> 利用する
着信音選択	IR 

【拡張設定】

市外局番	<input type="text"/>
エコーキャンセラ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
非通知着信	<input type="checkbox"/> 拒否する
IP電話発信者番号通知	<input checked="" type="checkbox"/> 通知する
ダイヤル間隔有効時間(秒)	4 
TEL-URL/SIP-URL	TEL-URL 
Centrex特番	<input type="checkbox"/> 使用する

【一般電話設定】

プッシュ/パルス回線選択	自動 
キャッチホン利用	<input type="checkbox"/> 利用する
フッキング時間(秒)	
通話中着信通知音	<input checked="" type="checkbox"/> 通知する
一般電話自動再発信	<input type="checkbox"/> 使用する

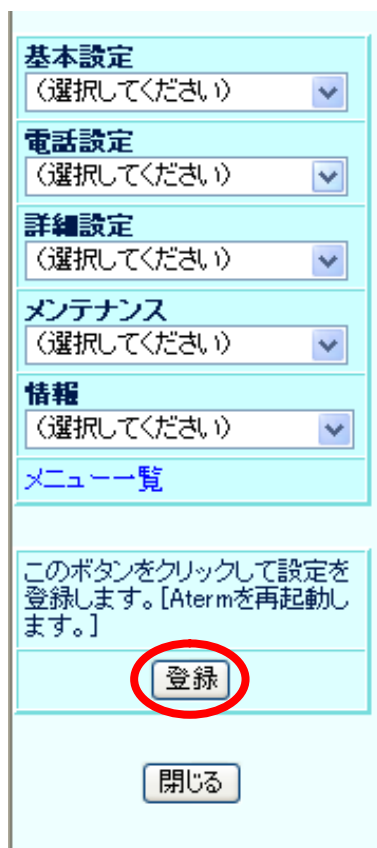
設定

変更前に戻す

〔入力内容〕

項目	設 定 内 容
ナンバーディスプレイ利用	お客様の一般電話回線がナンバーディスプレイ契約回線の場合、「ナンバーディスプレイ利用」を「あり」に設定してください。 一般電話回線がナンバーディスプレイ契約回線であっても、接続する電話機が未対応な場合は「なし」に設定してください。
着信音選択	IR (初期値: SIR)
市外局番	一般電話回線の市外局番を入力
エコーキャンセラ	変更不要 (初期値: 利用する)
非通知着信	変更不要 (初期値: 拒否しない)
IP電話発信者番号通知	変更不要 (初期値: 通知する)
ダイヤル間隔有効時間(秒)	変更不要 (初期値: 4)
TEL-URL/SIP-URL	変更不要 (初期値: TEL-URL)
プッシュ/パルス回線選択	通常: 自動 発信できない場合は、お客様の回線種別に合わせて設定してください。
キャッチホン利用	お客様の一般電話回線がキャッチホン契約回線の場合、「キャッチホン利用」を「あり」に設定してください。
フッキング時間(秒)	変更不要 (初期値: 無効)
通話中着信通知音	変更不要 (初期値: 通知する)
一般電話自動再発信	変更不要 (初期値: 使用しない)

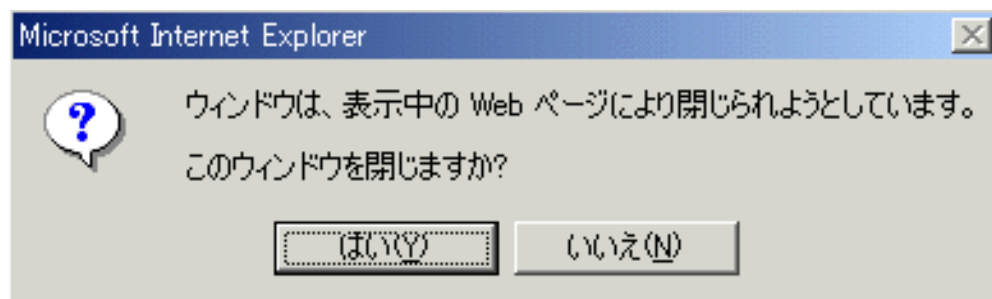
5. メニューの「登録」をクリックし、設定を有効にします。



6. 下記のメッセージが出れば設定が反映されています。



7. 「はい」を選択して、ウィンドウを閉じます。



以上で、電話設定は完了です。

第5章 VoIP TA の初期設定

JANIS からお送りした、VoIP-TA は初期設定が完了しておりますので、初期設定の必要はありません。

リセットなどで再度初期設定が必要な場合のみ参照して下さい。

設定の際は周辺機器の接続をし、パソコン、モデム、VoIP TA はすべて電源を入れた状態で設定を開始してください。

初期・接続設定

1. Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動して、アドレス欄に「http://web.setup/」と入力し、Enter キーを押します。

注1: ブラウザにプロキシが指定してある場合は、プロキシの設定をはずしてからこちらの設定を行ってください。

注2: パーソナルファイアウォール関連ソフト (例: ノートン (シマンテック)、ウィルスバスター、PCGATE 等) がインストールされている場合、以下の画面が正常に表示されない場合があります。その場合、パーソナルファイアウォールの設定を無効にしてください。詳細は各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。



2. 初めて TA にログインする際には管理者パスワードを設定する画面が表示されますので、設定します。入力が終わりましたら、設定をクリックします。

JANISでの初期設定時のパスワードは、31 ページ「電話設定」をご覧ください。

Aterm BR500V — 【管理者パスワードの初期設定】

Atermは、第三者による不意のアクセスや設定変更を防止するため、管理者パスワードを入力してはじめてアクセスできるようになっています。パスワードに使用できるのは半角英数字、ハイフン、アンダースコアのみです。名前や生年月日など、他人から類推されやすい単語を用いることはお控えください。

【管理者パスワードの初期設定】

パスワード	<input type="text"/>
パスワード再入力	<input type="text"/>

パスワード記入欄

パスワードを設定した際は、こちらへ控えておいてください。

3. 続いて、クイック設定ウィザードが表示されますので、下記の通り設定します。

[クイック設定ウィザード(接続設定)]

接続に必要な最低限の設定を行います。

接続事業者毎にカスタマイズされた設定を行います。
ご利用になる環境に合わせて、設定パターンをお選びください。

【設定パターン】

設定パターン

設定1

接続先の設定を行います。
プロバイダから提供された情報を入力してください。

【接続先の設定】

接続先名	接続設定1
ユーザー名	
パスワード	

設定

ADSL・CATV(DHCP 接続)をご使用の場合、設定パターンは「設定 1」を選択してください。
光回線接続をご使用の場合は設定パターンは「設定 2」を選択し、以下の通り設定します。

〔入力内容〕

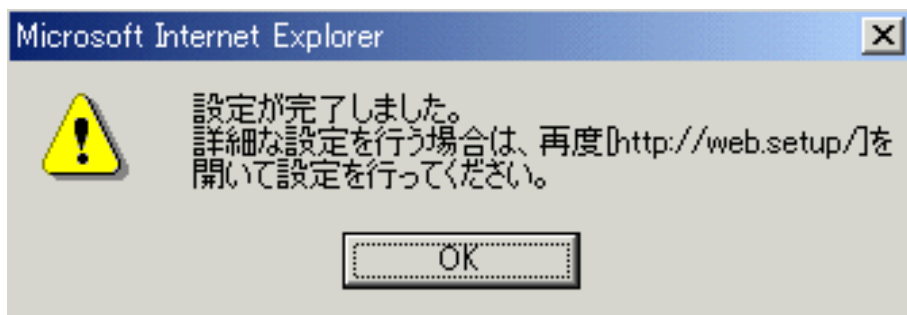
NO	項目	設 定 内 容
1	接続先名	例: JANIS
2	ユーザー名	「ご利用案内通知書」の<光接続時> 接続先ユーザ名を入力
3	パスワード	「ご利用案内通知書」の<光接続時> 接続パスワードを入力

4. 設定が終わりましたら、設定をクリックします。

[クイック設定ウィザード(設定中)]

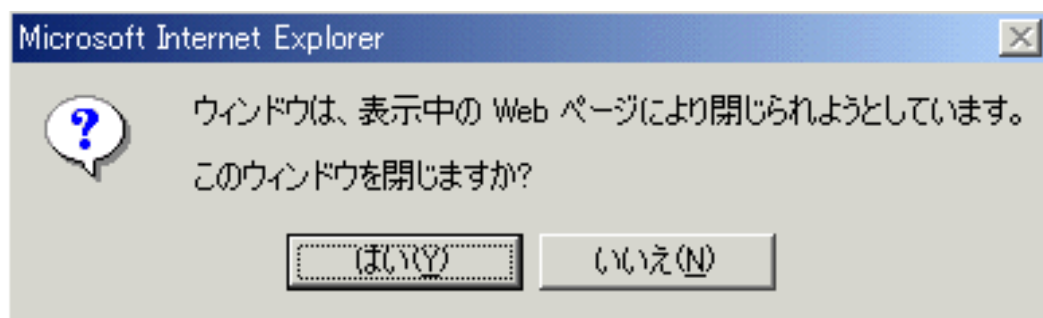
インターネットに接続するための設定を行っております。
設定を反映させるために、装置が再起動しますので、
30秒ほどお待ちください。

5. 「設定」をクリックすると、設定が反映され TA の再起動が行われます。



上記のメッセージが出れば設定が反映されています。

6. 「はい」を選択して、ウインドウを閉じます。



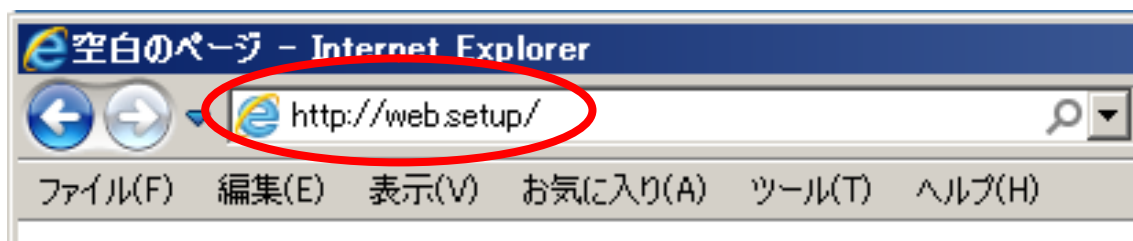
- ・ A D S L 接続のお客様は次ページの設定を行います



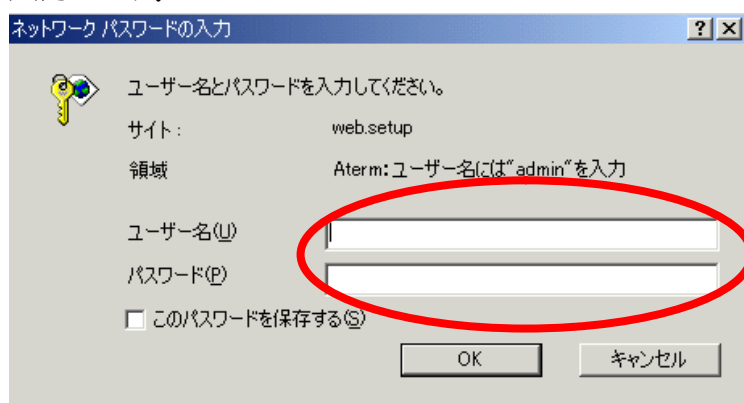
ADSL接続及び固定 IP アドレスの接続方法

こちらでは、DHCP を使用しない場合(固定IP)は、チェックを外し IP アドレスやゲートウェイ、DNS の設定を行います。

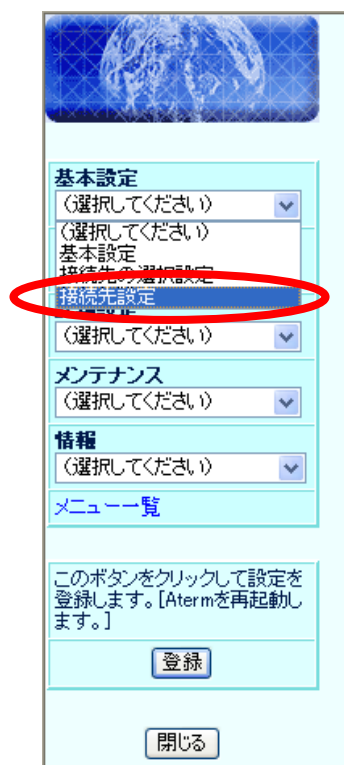
1. Internet Explorer などのブラウザから <http://web.setup/> へアクセスします。



2. ユーザー名は admin 、パスワードには「p.35 1.初期・接続設定」で設定したパスワードを入力します。



3. 基本設定の「接続先設定」をクリックします。



4. 下記の通り設定を行い、設定をクリックします。

【接続先設定(ローカルルータ)】

【DHCPクライアント機能】

DHCPクライアント機能	<input type="checkbox"/> 使用する
IPアドレスの自動取得	<input checked="" type="checkbox"/> 要求する
自動取得の要求時間(秒)	300

【IPアドレス/ネットマスク】

IPアドレス	
ネットマスク	

【ゲートウェイ】

サーバから割り当てられたアドレス	<input type="checkbox"/> 優先する
固定アドレス	

【ネームサーバ】

サーバから割り当てられたアドレス	<input type="checkbox"/> 優先する
プライマリDNS	
セカンダリDNS	

【ドメイン名/ホスト名】

ドメイン名	
ホスト名	

【拡張設定】

PING応答機能	<input type="checkbox"/> 使用する
IPアドレスの割り当て競合検出	<input type="checkbox"/> 使用する

設定 変更前に戻す

(入力内容)

項目	設 定 内 容
【DHCP クライアント機能】	
DHCP クライアント機能	チェックしない
IP アドレスの自動取得	選択不可
自動取得の要求時間(秒)	入力不可
【IP アドレス / ネットマスク】	
IP アドレス	「ご利用案内通知書」の IP アドレスを入力
サブネットマスク	「ご利用案内通知書」のサブネットマスクを入力
【ゲートウェイ】	
サーバから割り当てられたアドレス	選択不可
固定アドレス	「ご利用案内通知書」のデフォルトゲートウェイを入力
【ゲートウェイ】	
サーバから割り当てられたアドレス	選択不可
プライマリ DNS サーバ	「ご利用案内通知書」の < ADSL 接続時 > 主ドメインネームサーバ(プライマリ DNS)を入力
プライマリ DNS サーバ	「ご利用案内通知書」の < ADSL 接続時 > 主ドメインネームサーバ(プライマリ DNS)を入力
【ゲートウェイ】	
ドメイン名	入力不要
ホスト名	入力不要
【拡張設定】	
PING 応答機能	PING 応答する場合はチェックを入れます。
IP アドレスの割り当て競合検出	選択不可

5. 入力が終わりましたら、「設定」をクリックします。設定が反映され TA の再起動が行われます。

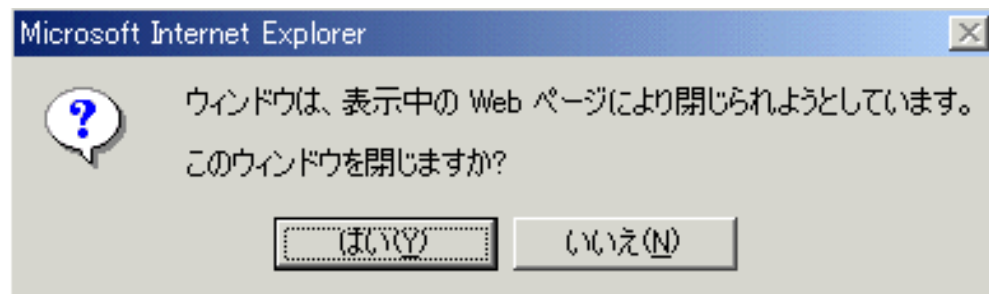
[クイック設定ウィザード(設定中)]

インターネットに接続するための設定を行っております。
設定を反映させるために、装置が再起動しますので、
30秒ほどお待ちください。

6. 上記のメッセージが出れば設定が反映されています。「OK」をクリックします。



7. 「はい」を選択して、ウィンドウを閉じます。

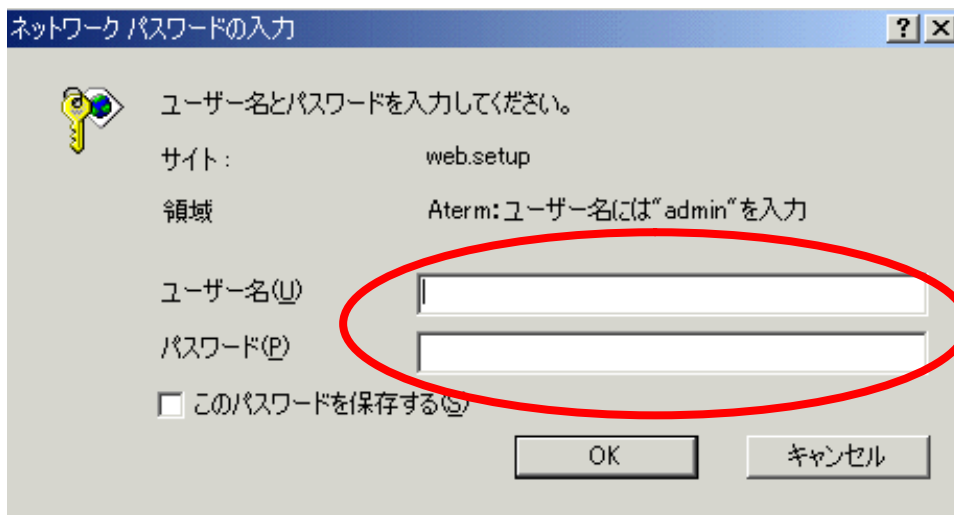


SIP サーバ設定

1. Internet Explorer などのブラウザから <http://web.setup/sip.html> へアクセスします。



2. ユーザー名は admin パスワードには 35 ページの「1.初期・接続設定」で設定したパスワードを入力します。



3. 下記の通り設定を行い、設定をクリックします。

【クイック設定ウィザード(電話設定)】

IP電話を使用するために必要な最低限の設定を行います。
IP電話の設定情報が手元に無い場合は、入力せずに設定ボタンを押してください。

【SIPサーバ設定】

VoIPサーバー名	<input type="text"/>
VoIP電話番号	<input type="text"/>
サービスドメイン	<input type="text"/>

【認証用設定】

VoIPユーザーID	<input type="text"/>
VoIPユーザーパスワード	<input type="password"/>

設定

〔入力内容〕

NO	項目	設 定 内 容
1	VoIP サーバー名	「ご利用案内通知書」の JANIS フォンサーバ名を入力
2	VoIP 電話番号	「ご利用案内通知書」の JANIS フォン電話番号を入力
3	サービスドメイン	janis.or.jp
4	VoIP ユーザーID	「ご利用案内通知書」の JANIS フォンユーザーIDを入力
5	VoIP ユーザーパスワード	「ご利用案内通知書」の JANIS フォンパスワードを入力

4. 下記のメッセージが出れば設定が反映されています。

【クイック設定ウィザード(設定中)】

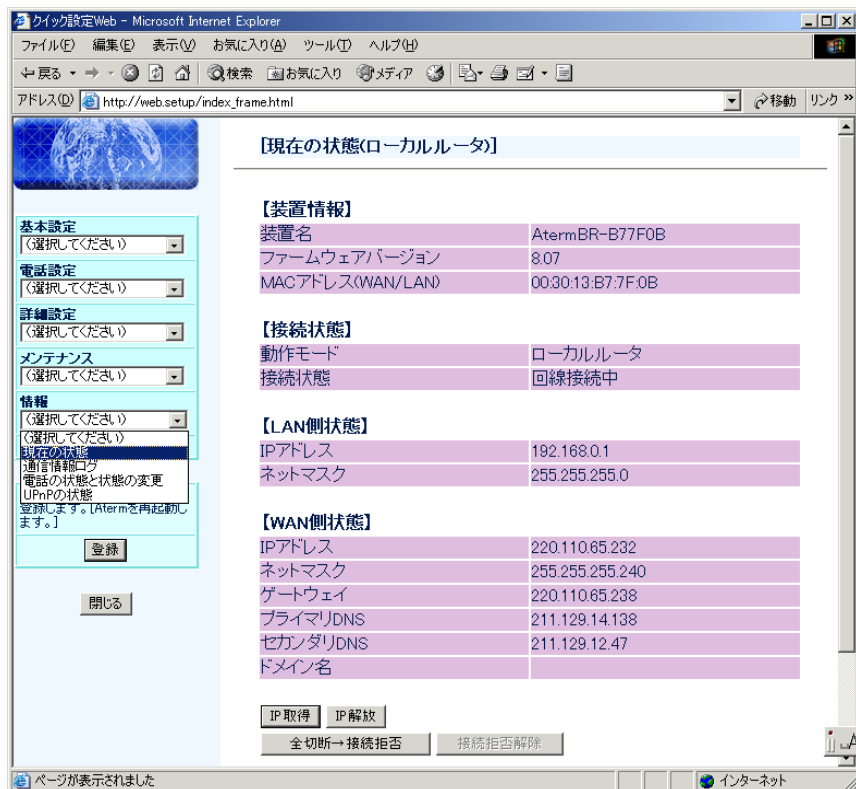
インターネットに接続するための設定を行っております。
設定を反映させるために、装置が再起動しますので、
30秒ほどお待ちください。

以上で設定完了です。ブラウザを終了して下さい。

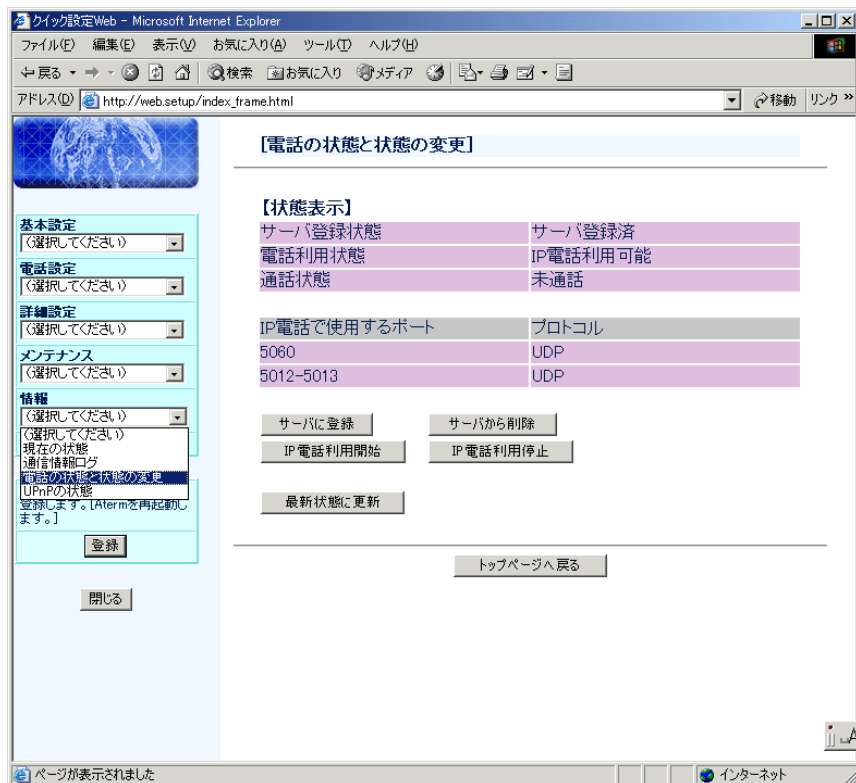
実際の使用に関しましては、別冊「IP電話使いかたガイド」をご覧ください。

設定情報の確認

「情報」メニュー内の、【現在の状態】を選択すると、取得した IP アドレス等の情報を、確認することが出来ます。



また、「情報」メニュー内の、【電話の状態と状態の変更】を選択すると SIP サーバの接続状況を確認することが出来ます。



設定が完了しましたら、可能な範囲で下記の手順で IP 電話の発着信を確認します。

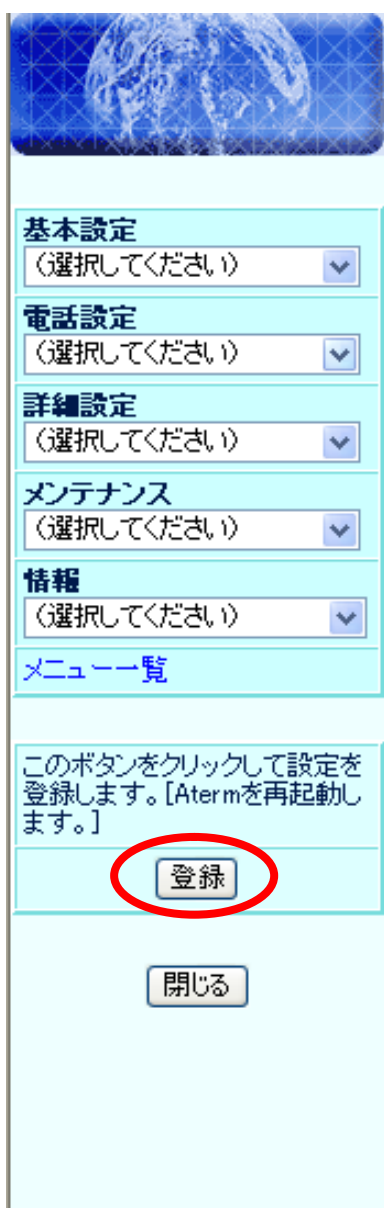
一般電話への通話

IP 電話への通話 (050-3583-0000) …留守番電話につながりましたら、問題はありません。

携帯電話への通話 …お客様の IP 電話番号 (050-3583-****) が表示されましたら、問題はありません。

携帯電話からお客様ご自身の一般電話への確認(着信確認)

ご注意ください！ …「変更保存とリブート」画面について



一旦入力、設定したものを変更する場合、
[登録] ボタンをクリックして下さい。

そうでないと、VoIP TA に設定が反映され
ません。

第6章 故障かな？と思ったとき

電話番号や認証用ユーザ ID・パスワードの誤りが考えられますので、[IP 電話設定]メニューの[電話基本設定]ページを再確認してください。

故障かな？と思ったとき

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	<p>AC アダプタ(電源プラグ)が壁のコンセントまたは本商品背面の電源ジャックから外れていないか確認してください。</p> <p>AC アダプタ(電源プラグ)がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます)</p> <p>電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜いてください。</p>

JANISへお問い合わせください。

本商品前面の WAN ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
WAN ランプが点灯しない	<p>本商品とブロードバンドモデムの両方に電源が入っていることを確認してください。</p> <p>ETHERNET ケーブルが本商品の WAN ポートとブロードバンドモデムの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。</p>

JANISへお問い合わせください。

本商品背面の PC ポート状態表示ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PC ポート状態表示ランプが点灯しない	<p>本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。</p> <p>LAN ボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>ETHERNET ケーブルが本商品の PC ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</p> <p>パソコンが LAN カード/ボードを認識しているかを確認してください。</p>

各パソコンメーカーもしくは販売店へお問い合わせください。

WWW ブラウザで設定画面が表示されない

症 状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウインドウが開いてしまう	パソコンのインターネットプロパティの[接続]で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。設定はつなぎかたガイドの「パソコンのネットワークを設定しよう」を参照して確認してください。
インターネットの接続設定でエラーが表示されるまたは、クイック設定 Web 操作が正常にできない	クイック設定 Web をお使いになるときは WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効にしてください。
クイック設定 Web 画面が開けない	複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから本商品を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。WWW ブラウザのアドレスに、JANIS から割りあてられた本商品のグローバル IP アドレス (例えば http://200.200.200.1/) を入力してください。

各パソコンメーカーもしくは販売店へお問い合わせください。

本商品前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない (PPP ランプが点滅し続けている)	CATV をご利用の場合または PPPoE をご利用にならない場合は、PPP ランプは点灯しません。 JANIS から送られている ID もしくはパスワードがあっていることを確認してください。 ユーザー名とパスワードが間違っている フレッツ光インターネット接続のユーザー名は、「*****@janis.or.jp」(例) のように @ 以下の JANIS のアドレスまですべて入力するのが一般的です。JANIS からのユーザー名とパスワードを再確認して正しく設定してください。

JANIS へお問い合わせください。

インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
接続に失敗する	本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。
接続が成功してもホームページが開けない	DNS サーバアドレスが間違っている 自動取得できない回線の場合は、JANIS から指定された DNS サーバアドレスを「クイック設定 Web」画面の「接続先設定」のネームサーバ (DNS サーバ) アドレスの欄に入力してください。

JANIS へお問い合わせください。

本商品前面の VoIP ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
電話機を利用していない状態で消灯している	IP 電話の登録がされていません。 契約内容に従って、IP 電話機能の設定を行なってください。詳細は 5 ページの「VoIP - TA 設定方法」をご覧ください。インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用していない状態で赤点灯している	IP 電話利用不可の状態です。 IP 電話機能の設定内容を確認してください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用している状態(通話状態)で緑点滅している	IP 電話で通話中です。
電話機を利用している状態(通話状態)で橙点滅している	公衆網(NTT 等)を利用して通話中です。

JANIS へお問い合わせください。

IP 電話が使えない

症 状	原因と対策
IP 電話が使えない	本商品背面の WAN ポートとブロードバンドモデムが ETHERNET ケーブルで接続されていることを確認してください。詳細は 5 ページの「VoIP - TA 接続方法」をご覧ください。 ブロードバンドモデムがルータモードになっている PPPoE をご利用の場合、ルータタイプのブロードバンドモデムをご利用になっているお客様は、必ず、ブロードバンドモデムを「ブリッジモード」に変更してください。 ルータモードのままでは、IP 電話はご利用いただけません。 各モデムメーカーに「ブリッジモードへの変更方法」を直接お問い合わせください。

JANIS もしくはブロードバンドモデムメーカーへお問い合わせください。

第7章 ルータ機能設定方法

ルータ機能など、詳細なIP電話の設定を行う場合は、
「機能詳細ガイド」で詳しく説明しております。
「機能詳細ガイド」は下記のURLからご覧ください。
<http://www.aterm.jp/function/500ref/c/index.html>



JANIS お問い合わせ先

ユーザーサポートへお電話をいただく際は、お手元に「ご利用案内通知書」をご用意下さい。
なお、お客様がご用意された周辺機器(ルータ等)については、一部サポートできない場合もございますのでご了承下さい。

JANIS インターネット ユーザーサポート

電話サポート受付		
【平日 9時～19時 土曜・日曜・祝日 9時～17時 (年末年始を除く)】		
JANIS への入退会、各種サービスの お問い合わせ	フリーダイヤル	0120-20-4824
	電話番号	026-225-8175
JANIS の接続設定に関するお問い合わせ		026-225-8176

メールサポート受付	
JANIS の各種サービスについて	info@janis.or.jp
JANIS のネットワーク接続設定について	support@janis.or.jp